

やまびこだより

福
第032号
社会福祉法人
杏和会
やまびこ学園
2018.2.26発行



立春とは名ばかりで、まだまだ寒い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。みなさまは節分の豆まきはされましたか？

年越しにあたる節分の夜は鬼が出現しやすいと考えられ、鬼に豆をぶつけて追い払い、福を呼びこもうということから豆まきをしている方も多いのではないのでしょうか。

鬼というのは邪気の象徴です。「おに」という日本語は「陰（おん）」に由来するといわれています。

「陰」とは目に見えない気、主として邪気のことをさし、それが「おに」なのです。また、隠れているこわいものとして「隠人（おんにん）」が変化したという説もあり、形の見えない災害、病、飢饉など、人間の想像力を超えた恐ろしい出来事は鬼の仕業と考えられていました。

鬼が住むのは鬼門である丑寅の方角なので、鬼は牛（丑）の角と虎（寅）の牙を持ち、虎の皮のふんどしをしているのです。

大豆は五穀のひとつで穀霊が宿るとされており、米に次いで神事に用いられてきました。米よりも粒が大きく、穀霊で悪霊を祓うのに最適であることや、魔の目（魔目＝まめ）に豆をぶつけて魔を滅する（魔滅＝まめ）にも通じます。そのため、豆まきには大豆が使われています。

今年もやまびこ学園二病棟で節分の豆まきをいたしました。なお一病棟に関しましては、2月中は感染対応がございましたので、今回の豆まきは見送りましたのでご了承ください。



給食だより

2月14日。やまびこ学園では2月の行事食をバレンタインデーの日にいたしました。バレンタインデーに女性が男性にチョコレートを贈るのは、日本独自の習慣というのをご存知でしょうか。欧米では恋人や友達、家族などがお互いにカードや花束、お菓子などを贈ります。では、チョコレートはどこから出てきたかという、1958年に東京都内のデパートで開かれたバレンタイン・セールで、チョコレート業者が行ったキャンペーンが始まりだそうです。そして、今ではチョコレートといえばバレンタイン・デーの象徴のようになってしまいました。

チョコレートの成分のうち特に注目なのが、血圧低下やアンチエイジング効果のある「カカオポリフェノール」。

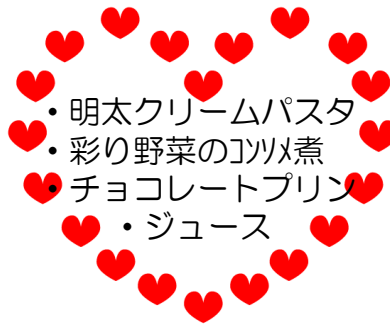
アンチエイジングにもなる老化防止の作用や、虫歯予防の効果などさまざまな効果が期待できます。ただし摂りすぎには要注意。チョコレートは高カロリー食品なので、板チョコ1枚でも1日の菓子・嗜好品摂取量を超えてしまいます。

チョコレートは毎日、何回かに分けて少しずつ食べるのがオススメ。

チョコレートの効果が持続する時間は短く、一度にたくさん食べたからと言って1日中その効果が続くわけではありません。

適量のチョコレートを正しく摂って、より健康的な生活を目指しましょう。

menu



ミンチ食



ソフト食



ミキサー食



お知らせ



今年も学園とご家族様・後見人様との契約が近づいてまいりました。昨年同様、4月に契約・10月にモニタリングさせていただきます。詳細に関しまして別途お知らせいたしますが、4月3日～4月27日の間の土・日・月を除く日となります。お忙しいところ恐れ入りますが、心よりお待ちしております。



今年の感染対策期間も残りわずかとなりました。今年も皆様にご協力いただきましたおかげで、大きな感染症の罹患なく、過ごせて参りました。

11月～3月までを感染対策期間とし、病棟への立ち入りを制限させていただきます。また、その際にはご連絡致します。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

